報告事項(4)

1月定例教育委員会 資料 令和2年1月29日 学校保健給食課

「鳥取市の学校給食の基本構想 (案)」に係る 市民政策コメントに寄せられた意見について

1 目的

これからのよりよい学校給食に取り組む指針となる「鳥取市の学校給食の基本構想」の改訂にあたり、市民から広く意見を求めることを目的とする。

2 実施期間等

令和元年12月18日(水)~令和2年1月13日(月)

3 提出された意見

- 1)人数 12人(56件)
- 2) 意見の内訳
 - ①提出方法

ア) 郵送 なし

- イ) ファクシミリ 3人
- ウ) 電子メール 4人
- 工)電子申請 4人
- 才) 持参 1人

②意見の概要(意見総数56件)

ア)	安全・安心な学校給食の提供に関する意	見 9件
	(衛生管理、献立、給食費など)	

- イ)アレルギーに関する意見 9件
- ウ)食育の充実に関する意見 7件

(残菜等の削減、栄養教諭・学校栄養職員の配置)

- エ) 地産地消の推進に関する意見 4件
- オ) 食材の調達方法に関する意見 5件
- カ) 学校給食センターの設置に関する意見 12件
- キ) 学校給食の運営に関する意見 2件
- ク) その他 8件

4 今後のスケジュール

令和2年 2月上旬 市民政策コメント結果の公表

- 2月中旬 第5回検討委員会
- 3月下旬 「鳥取市の学校給食の基本構想」の策定

【主な意見】

- ア) 安全・安心な学校給食の提供に関する意見
 - ・配給先の学校への衛生管理をもう少し徹底する必要性がありはしないか。
 - ・「統一的な献立となるよう整合を図ります」とあるが、統一的な献立にこだわることはない。
 - ・値上げしていないで給食の内容に影響がでるのであれば、安全で安心な給食のためには少々の 値上げはやむを得ないと思うが、できれば給食費を値上げしないでやりくりして欲しい。

イ)アレルギーに関する意見

- ・鳥取市も小麦を長期的課題として3.5.10年先を想定して検討していただきたい。
- ・過去にアナフィラキシー既往歴があっても、現在の改善状況に応じて学校給食の提供を。
- ・献立自体をアレルギーの子も食べられる献立に変える。

ウ) 食育の充実に関する意見

- ・「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年 10 月 1 日に施行された。残滓については、このことを踏まえた明記があってもいいのではないか。
- ・かかっている費用(コスト)が見えないから、食べ残しがあるのではないか。子どもも保護者も食べ残しは"もったいない"という気持ちを持って欲しい。
- ・食の楽しさを味わわせる環境作りを推奨したい。
- エ) 地産地消の推進に関する意見
- ・県内産食材使用率の目標値76%しか示されていないが、地元産食材の使用率の目標を持つべき。

オ) 食材の調達方法に関する意見

・「食材調達の一本化を検討」については無理があると思う。「地元産食材の安定供給ができる 体制」というのは生産体制だと思うので、そこのところに力を入れてほしい。

カ) 学校給食センターの設置に関する意見

- ・いまだ合併時のままの状況を維持していることは、驚きで早急に見直すべき。早急に施設統合 し、無駄な維持管理費を削減すべき。少子化も加速する。
- ・センターによって食数の差が 4000 食以上あり、施設の老朽化も進んでいる。公平性、効率性 を考えると、小規模の給食センターは、老朽化に伴う改築を行う時に、統合すべきである。
- ・今後の労働人口減少の問題などがあり、給食センターのメニューを全て統一、食材の一括購入など少ない人数でも給食供給が可能な体制づくりも必要に感じる。
- ・センター数を増やすのではなく、今後の学校統廃合および児童数、アレルギーを持つ児童数、 労働人口の統計をもとに労働者を確保出来、給食供給できる施設数を検討し、センター数が減 少しても良いのではと思う。センターを増やすことにより人、設備、費用管理などが増える。
- ・「心身の健全な発達」「食育の推進」を具体化できる計画であるためには、現状より大規模な施設とならないことが必要。食育を推進するためにも小規模施設のほうが、実現の可能性はさらに広がる。
- ・「調理から配送までの業務にとどまらず、工事の発注方法や運営を総合的に踏まえて事業手法 を検討します」とあるが、地元や今担っている業者が参画できるような方法を検討すべき。

キ) 学校給食の運営に関する意見

- ・「民間委託実施の効果を検証し」の意味がわからない。平成22年度に委託事業の検証・評価がされたが、それ以降の報告はないという認識である。今後は、定期的に検証するということなのか。あわせて、検証結果は公表すべきと考える。
- ・労働力人口の状況が示されていたが、交通・配送業、飲食業などの求人広告をよく目にする。働き手が減ってきている中で、給食の調理、配送はこれからどうなっていくのか不安に思う。人がいないので給食ができない、ミスが発生するのでは困る。働く側も、少ない人数で調理しなければならないとなれば、大変だと思う。そのあたりも考えてほしい。

ク) その他

・《具体的な施策》については、もっとも重要な取り組み。どう今後に生かすのか空論で終わらないようにしてほしい。